

役員就任の挨拶

就任に当たって（監事：松本 香）

この度、国立高専機構の監事に就任した松本香です。私は公認会計士として企業や公益法人・学校法人の会計指導・監査、上場会社の社外役員、あるいは企業・個人の税務等に携わっています。

法人外監事としての私に期待されていることは、私の経歴を生かし、国立高専の外部から第三者的な意見を申し上げ、社会と国立高専の架け橋となることだと考えております。もとより、国立高専の皆様が誠実に職務を遂行されていることは、すでに数校を実地に訪問させていただき実感しておりますが、私なりに高専制度の発展のために尽くす所存でございますので、宜しくお願いいたします。



創立 50 周年記念の挨拶

高専制度創設50周年記念事業の取組について（理事 兼 明石工業高等専門学校長：京兼 純）

高専は、産業界からの強い要望に応え、昭和36（1961）年6月に学校教育法の一部改正によって中学卒業段階から5年一貫教育により、6.3.3.4制とは異なる教育体系で、優れた実践的技術者を養成するための高等教育機関として創設されました。昭和37年4月に第一期12校が開校し、平成4（1992）年には2年制の専攻科が設置され、これまで30万人を超える有為な人材を世に送り出し、各界から高い評価を受けています。

このたび、創設50周年の節目を迎えることになり、国立高専機構（51高専）、公立高専協会（3高専）及び日本私立高専協会（3高専）が連携して、「進化する高専」を統一キャッチフレーズに、平成24（2012）年度に様々な記念事業を実施します。高専は、創設50周年を契機として高専制度の原点を再確認し、社会の変化や技術の変化を的確に捉え、創造力と実践力、イノベーションの創出、地域連携、国際交流を視野に入れ、科学技術創造立国の一翼を担う感性と創造性が豊かな実践的技術者を養成しつつ、文化の香り高い豊かな社会の発展を目指していきます。

国立高専機構では記念事業や諸活動を円滑に行うため、広報委員会のもとに「高専制度創設事業準備委員会」を立ち上げ、実施体制の整備、統一ロゴマークとマスコットキャラクターの選定（下図）、記念式典、学協会誌への記念特集号などに関し鋭意検討を進めているところです。今回、マスコットキャラクターに選定されたデザインは学生からの応募であり、また応募240作品のうち3名のデザインが学生優秀賞として選ばれ、計4名の学生に賞状と図書券が贈呈されます。



高専制度創設事業統一ロゴマーク
作：三田 功さん（デザイナー）



高専制度創設事業統一マスコットキャラクター
作：会沢 渚織さん（福島高専専攻科1年）